

【全国学力・学習状況テスト結果（3年）】

〈教科に関する調査〉

国語

- ・全体の正答率は全国平均とほぼ同値だが、観点で見ると「知識・技能」が全国平均よりやや低いが、「書くこと」は県平均・全国平均より高い。

数学

- ・全体の正答率は県よりやや高いが、領域別にみると図形がやや低く、課題がある。

英語

- ・全体の平均正答率は県・全国よりともに高く、どの領域についても高い結果となっている。

【埼玉県学力・学習状況調査結果（1，2，3年）】

〈教科に関する調査〉

1年生

- ・国語は、全体の正答率は県平均より高く、観点別にみても「知識技能」「思考判断表現」とともに県平均より高い。数学は、全体の正答率は県平均より高いが、領域別で見ると「関数」「データ活用」に課題がみられる。

2年生

- ・国語は、全体の正答率は県平均より高い。数学は、全体の正答率は県平均より高く、「関数」は県平均よりかなり高かった。英語は、全体の正答率は県平均より高く、観点別・領域で見ても、高い結果となっている。

3年生

- ・国語は、全体の正答率は県平均より高いが、観点別では、「知識技能」で課題が見られた。数学・英語は、全体の正答率は県平均より高く、観点別・領域で見ても、高い結果となっている。

〈家庭での生活習慣等に関する質問〉

- ・「学校に行くのは楽しいと思う」「自分にはよいところがあると思う」「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う」と答えた生徒の割合が高かった。
 - ・「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んだ」「受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行った」と答えた生徒の割合が高かった。
 - ・「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができた」「学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めた」と答えた生徒の割合が非常に高かった。
- ⇒互いの良さを認め合い、課題解決において、話し合い活動が活発に行われていることがわかった。教師と子供たちとの関係性も良い。今後も生徒の良いところを伸ばし、自己肯定感を一層高めていく。

〈規律ある態度質問紙調査〉

- ・どの学年においても、「靴そろえ」「やさしい言葉づかい」「話を聞き発表する」の項目についてのポイントが高いため、引き続き、基本的な生活習慣を大切にして、穏やかに人間関係を築けるよう見守ることが求められる。

以上の結果を踏まえ、すべての教育活動全体を通し、子供たちが健やかに育つようにしていく。学習においては、該当教科や学年等でさらに詳細に分析し、生徒の苦手や躓き及び傾向の把握に生かしていく。